志願種別	養護教諭	教科科目	教科・科目試験	受験番号		氏名	

1　「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引－令和３年度改訂－（令和４年３月公益財団法人日本学校保健会）」に示されていることについて、次の問いに答えよ。

（1）保健指導の目的について、次の（　①　）～（　③　）に入る適語を答えよ。

個別の保健指導の目的は、個々の児童生徒の心身の（　①　）の解決に向けて、自分の（　①　）に気付き、理解と（　②　）を深め、自ら積極的に解決していこうとする自主的・（　③　）な態度の育成を図るために行われるものである。

（2）保健指導の主な対象者について、５つ答えよ。

（3）保健指導実施上の留意点について、（　①　）～（　③　）に入る適語を、下のア～クから選んで記号で答えよ。

○　指導の目的を確認し、（　①　）に即した指導内容に努め、学級担任等との共通理解を図っておくことが大切である。
○　（　②　）や地域社会との連携を図りながら実施する。
○　教科等及び（　③　）の保健の指導と関連を図っていくことが重要である。

ア　学校行事	イ　発達段階	ウ　学校医	エ　学年
オ　学習内容	カ　家庭	キ　校内	ク　特別活動

2　「学校環境衛生管理マニュアル『学校環境衛生基準』の理論と実践〔平成30年度改訂版〕（2018年８月文部科学省）」及び「児童生徒の健康に留意してＩＣＴを活用するためのガイドブック（文部科学省）」に示されていることについて、次の問いに答えよ。

（1）解答用紙の枠を黒板として、教室の黒板の照度測定位置を、○印と下の語句を使って図示せよ。

中央　　30cm　　10cm

（2）検査項目「まぶしさ」の基準について、次の文の（　①　）～（　⑤　）に入る適語を答えよ。

（ア）児童生徒等から見て、黒板の外側（　①　）度以内の範囲に輝きの強い（　②　）（昼光の場合は窓）がないこと。
（イ）見え方を妨害するような（　③　）が、黒板面及び（　④　）にないこと。
（ウ）見え方を妨害するような電灯や（　⑤　）等が、テレビ及びコンピュータ等の画面に映じていないこと。

（3）暗いところ、あるいは極端に明るいところで電子黒板やタブレットＰＣの画面を見ると、児童生徒の目の疲労を早めて円滑な授業の実施に支障をきたす可能性がある。教室の適切な明るさを確保・維持するためにできる改善方策のポイントを２つ答えよ。

3　「食物アレルギー緊急時対応マニュアル（平成28年3月秋田県医師会・秋田県教育委員会）」に示されていることについて、次の問いに答えよ。

（1）食物アレルギーの既往があり、食物の関与が疑われるアレルギー症状がある児童生徒がいる。発見者が行うことを、3つ答えよ。

（2）緊急性が高いアレルギー症状のうち、①全身の症状、②呼吸器の症状、③消化器の症状についてそれぞれ2つ答えよ。

（3）症状を観察したところ、ただちにアドレナリン自己注射薬（「エピペン®」）を使用すると判断した。注射する部位、介助者がいる場合について、（　①　）～（　④　）に当てはまる適語を答えよ。

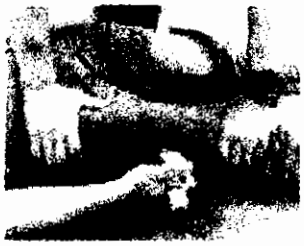
［注射する部位］

・（　①　）の上から、打つことができる
・太ももの付け根と（　②　）の中央部で、かつ真ん中よりやや（　③　）に注射する

［座位の場合］



［仰向けの場合］



［介助者がいる場合］

介助者は、子供の太ももの付け根と（　②　）をしっかり抑え、動かないように（　④　）する

4　学校保健安全法施行規則第二十二条を読み、下線部が正しければ○を、誤っている場合は適語を答えよ。

第二十二条　学校医の職務執行の準則は、次の各号に掲げるとおりとする。

一　学校保健計画及び①保健室経営計画の立案に参与すること。

二　学校の②環境衛生の維持及び改善に関し、学校薬剤師と協力して、必要な指導及び助言を行うこと。

三　法第八条　の③教育相談に従事すること。

四　法第九条　の④保健指導に従事すること。

五　法第十三条　の健康診断に従事すること。

六　法第十四条　の疾病の予防処置に従事すること。

七　法第二章第四節　の感染症の予防に関し必要な指導及び助言を行い、並びに学校における感染症及び⑤食中毒の予防処置に従事すること。

八　校長の求めにより、⑥救急処置に従事すること。

九　市町村の教育委員会又は学校の設置者の求めにより、法第十一条　の健康診断又は法第十五条第一項　の健康診断に従事すること。

十　前各号に掲げるもののほか、必要に応じ、学校における⑦保健管理に関する専門的事項に関する指導に従事すること。

2　学校医は、前項の職務に従事したときは、その状況の概要を⑧保健日誌に記入して校長に提出するものとする。

5　「学校において予防すべき感染症の解説（令和５年度改訂）（令和６年３月公益財団法人日本学校保健会）」に示されていることについて、次の問いに答えよ。

（１）麻しんの感染経路を３つ答えよ。

（２）麻しんの症状について、（　①　）～（　④　）に入る適語を答えよ。

典型例では、臨床的に、カタル期、発しん期、回復期に分けられる。カタル期には眼が充血し、涙や（　①　）が多くなる、咳、鼻水等の症状と（　②　）がみられ、口内の頬粘膜に（　③　）という特徴的な白い斑点（粘膜疹）が見られるのが診断のポイントである。熱が一旦下がりかけ、再び高熱が出てきたときに赤い発しんが生じて発しん期になる。発しんは耳の後ろから（　④　）にかけて出始め、身体全体に広がる。

（３）麻しんに感染した場合の、出席停止の期間の基準を答えよ。

（４）児童生徒、教職員等が麻しんであったと連絡を受けた場合の、学校の対応を４つ答えよ。

6　「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成27年度改訂（平成27年８月公益財団法人日本学校保健会）」に示されていることについて、次の問いに答えよ。

（１）聴力検査の方法について、①～③から正しいものを１つ選び、番号で答えよ。

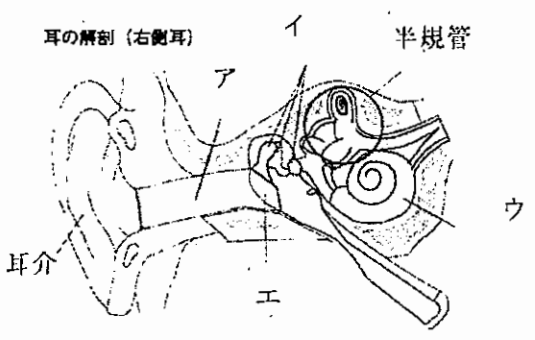
①　聞こえのよい耳から始めるが、どちらがよく聞こえるか分からないときは左耳から始める。

②　まず4,000Hz30dBの音を聞かせ、聞こえるかどうか応答させる。応答が不明瞭なときには断続音を用いて音を切ったり、出したりして応答を求める。明確な応答が得られたら1,000Hz25dBの音を聞かせ応答を確かめる。応答は応答ボタンを押すか手を挙げるなどの合図で行わせる。

③　検査は可能な限り静寂な部屋で、一人ずつ行うのが望ましい。２個以上の受話器を備えたオージオメータであっても二人以上を同時に検査することは誤った結果が生じやすく、難聴者を見逃すもとになるので避けるべきである。

（２）次の難聴の説明文について、①～③に当てはまる部位を右の解剖図から選び、記号で答えよ。

大気を伝わってきた音は①外耳道や中耳（②鼓膜や③耳小骨）で増幅されて内耳に到達する。内耳では感覚細胞の働きで音は電気的な信号に変換されて聴神経を経由して、大脳の聴中枢で認識される。この聴覚経路のどこかに障害が起こると、聴力（聞こえ）の障害が起こる。この聴力の障害を難聴という。



（３）一側ろう（片耳の高度難聴）の児童生徒の座席について、配慮する点を答えよ。

7　「学校保健の課題とその対応－養護教諭の職務等に関する調査結果から－令和２年度改訂（令和３年３月公益財団法人日本学校保健会）」に示されていることについて、次の問いに答えよ。

（１）健康観察の法的位置付けについて、法令の一部を抜粋したものである。（　①　）～（　③　）に入る適語を答えよ。

［学校保健安全法］
第九条　養護教諭その他の職員は、相互に連携して、健康相談又は児童生徒等の健康状態の（　①　）な観察により、児童生徒等の心身の状況を把握し、健康上の問題があると認めるときは、（　②　）、当該児童生徒等に対して必要な指導を行うとともに、必要に応じ、その保護者に対して必要な（　③　）を行うものとする。

（２）健康観察の目的を３つ答えよ。

（３）健康観察の留意点について、下線部ア～クのうち、誤っているものを３つ選び、記号で答えよ。

①　学校における健康観察は、ア校長や養護教諭が中心となり、教職員との連携の下に実施すべきものであることから、全教職員が健康観察の意義と重要性を理解し共通認識のもとに実施できるようにすることが重要である。
②　児童生徒等は、自分の気持ちを言葉でうまく表現できないこともあり、心の問題が顔のイ表情や行動に現れたり、頭痛・腹痛などの身体症状となって現れたりすることもあるため、きめ細やかな観察が必要である。
③　心の健康課題が疑われる場合でも、まず、ウ身体的な疾患があるかないかを見極めてから対応することが大切である。
④　「体に現れるサイン」・「行動や態度に現れるサイン」・「エ対人関係に現れるサイン」の３観点から、健康観察ができるようにする。
⑤　児童生徒等に自分の健康状態を意識させることによって、オ自己肯定感を育てることが大切である。
⑥　校内研修会などにより、教職員のカ共通理解を図るための機会を設ける。
⑦　キICT端末による健康観察を実施している学校は、情報の管理に留意する。
⑧　家庭における保護者が行う健康観察も、児童生徒等の心身の状況を把握する上で重要であることから、保護者にも児童生徒等の健康観察の視点等についてク連携を図り、理解と協力を得ていくことが重要である。

（４）健康観察結果の活用について、考えられる活用方法を５つ答えよ。

8　「中学校学習指導要領解説　保健体育編（平成29年７月文部科学省）」保健分野　（１）健康な生活と疾病の予防についての内容から一部抜粋したものである。次の（　①　）～（　⑤　）に入る適語を答えよ。

（イ）生活習慣と健康

㋐　運動と健康

運動には、身体の各器官の機能を刺激し、その発達を促すとともに、気分転換が図られるなど、（　①　）にもよい効果があることを理解できるようにする。また、健康を保持増進するためには、年齢や生活環境等に応じて運動を続けることが必要であることを理解できるようにする。

㋑　食生活と健康

食事には、健康な身体をつくるとともに、運動などによって消費されたエネルギーを補給する役割があることを理解できるようにする。また、健康を保持増進するためには、毎日適切な時間に食事をすること、年齢や運動量等に応じて（　②　）のバランスや食事の量などに配慮することが必要であることを理解できるようにする。

㋒　休養及び睡眠と健康

休養及び睡眠は、心身の疲労を（　③　）するために必要であること、健康を保持増進するためには、年齢や生活環境等に応じて休養及び睡眠をとる必要があることを理解できるようにする。

その際、長時間の運動、学習、作業などは、疲労をもたらし、その徴候は心身の状態の変化として現れること、これらは運動や学習などの量と質によって、また環境条件や（　④　）によって現れ方に違いがあることについて取り上げ、適切な休養及び睡眠によって疲労を蓄積させないようにすることが大切であることに触れるようにする。

なお、必要に応じて、コンピュータや情報ネットワークなどを長時間使用することによる疲労の現れ方や休憩の取り方など健康との関わりについても取り上げることにも配慮するものとする。

㋓　（　⑤　）のとれた生活

心身の健康は生活習慣と深く関わっており、健康を保持増進するためには、年齢、生活環境等に応じた適切な運動、食事、休養及び睡眠の（　⑤　）のとれた生活を続けることが必要であることを理解できるようにする。

9　次の語句について説明せよ。

（１）摂食障害

（２）結核

10　次の事例について、養護教諭としての対応を述べよ。

夏休み明けから遅刻がちになった中学校２年生男子。

保健室に頭痛、めまいを訴えて来室した。顔色が悪いため、下肢を挙上して休養すると回復した。「最近、疲れやすく、だるい」と話し、次第に欠席も増えていった。

学級担任・教科担任と学校生活の様子について情報共有した結果、授業中は無気力で寝ていること、忘れ物が多く宿題が提出できずに、放課後に居残りをして宿題をしていることが分かった。

学級担任・教科担任は、夜遅くまでインターネットをしているため、怠惰であると捉えていた。

志願種別	養護教諭	教科科目	教科・科目試験	受験番号		氏名	

1　２４点

（１）６点（２点×３＝６点）

①	〈解答例〉 健康課題	②	〈解答例〉 関心	③	〈解答例〉 実践的

（２）１５点（３点×５＝１５点）

〈解略…評価基準〉　健康診断の結果などのキーワードの有無で評価する。
〈解略…評価基準〉　保健室等での児童生徒の対応を通してなどのキーワードの有無で評価する。
〈解略…評価基準〉　日常の健康観察の結果などのキーワードの有無で評価する。
〈解略…評価基準〉　心身の健康に課題などのキーワードの有無で評価する。
〈解略…評価基準〉　健康生活の実践などのキーワードの有無で評価する。

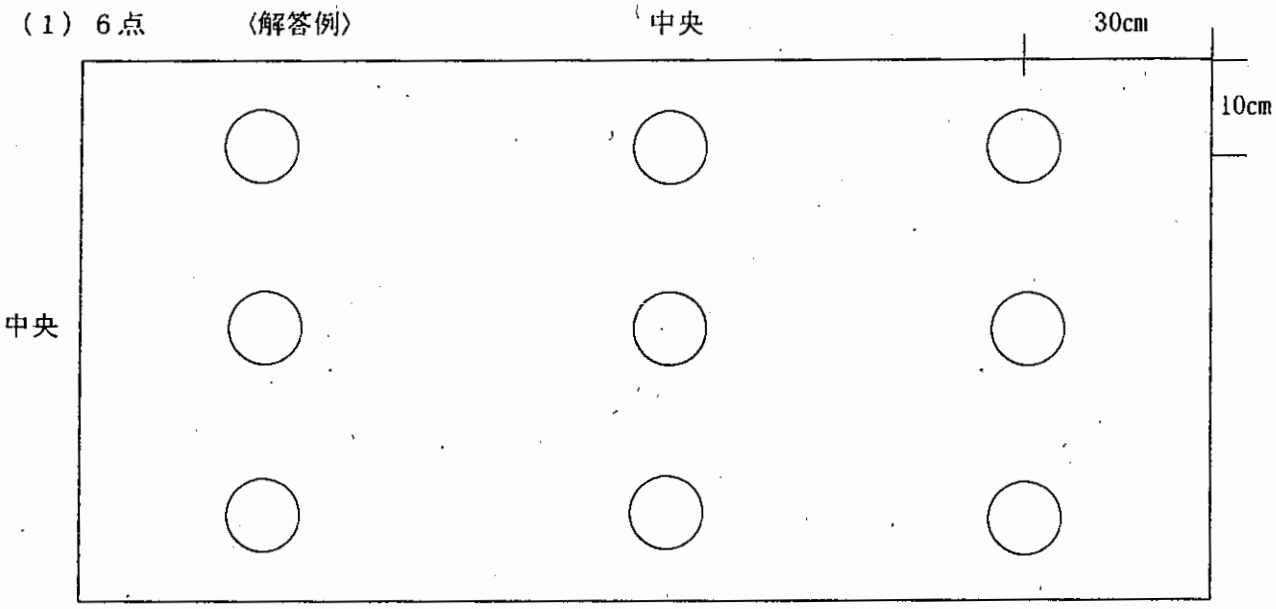
（３）３点（１点×３＝３点）

①	〈解答例〉 イ	②	〈解答例〉 カ	③	〈解答例〉 ク

志願種別	養護教諭	教科科目	教科・科目試験	受験番号		氏名	

２　２２点

（１）６点　〈解答例〉



（２）１０点（２点×５＝１０点）

①	〈解答例〉　１５	②	〈解答例〉　光源	③	〈解答例〉　光沢
④	〈解答例〉　机上面	⑤	〈解答例〉　明るい窓		

（３）６点（３点×２＝６点）

〈解略…評価基準〉

厚手や遮光カーテンの設置、廊下側にもカーテン、などのキーワードを主な観点として、相対的に評価する。

志願種別	養護教諭	教科科目	教科・科目試験	受験番号		氏名	

3　２９点

（１）９点（３点×３＝９点）

〈解略…評価基準〉　目を離さない、ひとりにしないなどのキーワードの有無で評価する。
〈解略…評価基準〉　助けを呼び、人を集めるなどのキーワードの有無で評価する。
〈解略…評価基準〉　アドレナリン自己注射薬（「エピペン®」）などのキーワードの有無で評価する。

（２）１２点（４点×３＝１２点）

①	〈解答例〉　ぐったり、意識もうろう、尿や便を漏らす、脈が触れにくいまたは不規則、唇や爪が青白い　　のうち二つを記入とする。
②	〈解答例〉　のどや胸が締め付けられる、声がかすれる、犬が吠えるような咳、息がしにくい、持続する強い咳き込み、ゼーゼーする呼吸　　のうち二つを記入とする。
③	〈解答例〉　持続する強い（がまんできない）お腹の痛み、繰り返し吐き続ける

（３）８点（２点×４＝８点）

①	〈解答例〉 衣類	②	〈解答例〉 膝	③	〈解答例〉 外側	④	〈解答例〉 固定

4　１６点（２点×８＝１６点）

①	〈解答例〉　学校安全計画	②	〈解答例〉　○
③	〈解答例〉　健康相談	④	〈解答例〉　○
⑤	〈解答例〉　○	⑥	〈解答例〉　○
⑦	〈解答例〉　○	⑧	〈解答例〉　学校医執務記録簿

志願種別	養護教諭	教科科目	教科・科目試験	受験番号		氏名	

5　２９点

（１）６点（２点×３＝６点）

〈解答例〉 空気感染	〈解答例〉 飛沫感染	〈解答例〉 接触感染

（１）の解答は順不同

（２）８点（２点×４＝８点）

①	〈解答例〉　眼脂（目やに）	②	〈解答例〉　発熱
③	〈解答例〉　コプリック斑	④	〈解答例〉　顔面

（３）３点（３点×１＝３点）

〈解略…評価基準〉　解熱した後３日などのキーワードの有無で評価する。

（４）１２点（３点×４＝１２点）

〈解略…評価基準〉 学校内で情報共有、学校の設置者（教育委員会）や学校医等に連絡などのキーワードを主な観点として、相対的に評価する。

志願種別	養護教諭	教科科目	教科・科目試験	受験番号		氏名	

6　11点

（1）2点（2点×1＝2点）

〈解答例〉　③

（2）6点（2点×3＝6点）

①	〈解答例〉　ア	②	〈解答例〉　エ	③	〈解答例〉　イ

（3）3点（3点×1＝3点）

〈解略…評価基準〉 聞こえる耳が教壇の側などのキーワードを主な観点として、相対的に評価する。

志願種別	養護教諭	教科科目	教科・科目試験	受験番号		氏名	

7　３３点

（１）６点（２点×３＝６点）

①	〈解答例〉　日常的	②	〈解答例〉　遅滞なく	③	〈解答例〉　助言

（２）９点（３点×３＝９点）

〈解略…評価基準〉 心身の健康課題の早期発見・早期対応などのキーワードを主な観点として、相対的に評価する。
〈解略…評価基準〉 集団発生状況を把握などのキーワードを主な観点として、相対的に評価する。
〈解略…評価基準〉 自他の健康に興味・関心などのキーワードを主な観点として、相対的に評価する。

（３）３点（１点×３＝３点）

〈解答例〉　ア	〈解答例〉　オ	〈解答例〉　ク

（３）の解答は順不同

（４）１５点（３点×５＝１５点）

〈解略…評価基準〉 集団発生の早期発見、いじめ、不登校傾向、虐待等の早期発見、健康診断の資料などのキーワードを主な観点として、相対的に評価する。

志願種別	養護教諭	教科科目	教科・科目試験	受験番号		氏名	

8　１０点（２点×５＝１０点）

①	〈解答例〉　精神的	②	〈解答例〉　栄養素	③	〈解答例〉　回復
④	〈解答例〉　個人	⑤	〈解答例〉　調和		

9　１６点（８点×２＝１６）

（１）	〈解略…評価基準〉 思春期やせ症（神経性食欲不振症）、過食症（神経性過食症）などのキーワードを主な観点として、相対的に評価する。
（２）	〈解略…評価基準〉 肺に病変、家族内感染などのキーワードを主な観点として、相対的に評価する。

志願種別	養護教諭	教科科目	教科・科目試験	受験番号		氏名	

10　１０点

〈解略…評価基準〉
起立性調節障害の疑い、受診などのキーワードを主な観点として、相対的に評価する。